

「元気が出る森松展」

テーマ 「情報が明日を制す」
～スピード&コスト～

日時 平成14年10月24日(木) 8:00~18:00
25日(金) 8:00~18:00
26日(土) 8:00~17:00

場所 森松株式会社 本社5Fホール

出展企業

アキレス(株) 出光ユニテック(株) エヌ・ビーシー(株) 大倉工業(株) オカモト(株)
カンボウプラス(株) コダカ産業(株) サンビック(株) シーダム(株) 師勝化成(株)
杉産業電機(株) 積水成型工業(株) 龍田化学(株) 日本ウェーブブロック(株) 林一(株)
丸喜化学工業(株) 三菱化学MK V(株) 明和グラフィア(株) 菱興プラスチック(株)

森松合同ブース出展企業

(株)アルファ工業 金子商店 コーハン 三協化成(株) 三和化成(株) (株)生産日本社
シーアイ化成(株) 大同紙工印刷(株) 東和合成工業(株) (株)トラスト (株)ビニテック
(株)プラスコーポレーション ポリテック(株) (敬称は略させていただきます)

森松展実行委員長: 吉岡 孝記
副委員長: 岩間 正美 安井 浩二

「森松USA」「サラリー」と「アワリー」

先月は9・11の式典が行われ、当日は言うまでも無く航空チケットが格安、全米一の高層ビルであるシカゴのシアーズタワーにテナントの入っている会社は休日となり、そしてテレビの放映局によっては午前中の放送を一部中止している所もありました。飛行機での移動が以前からあまり好きではなかった私にとって、あのテロは飛行機に乗る際の不安材料がまた増えたという厄介なものであります。

そんな状況の下、とある日系企業を訪問したときに聞いたのが、この国に働く人が二種類ある、「サラリー(給料)」で働く人と「アワリー(時間給)」で働く人。つまりサラリーで働く人は自分の仕事に対して責任を持ち、残業も必要な場合にはする。アワリーの人は時間が来たらそれまで、決められた仕事を決められただけする。時間給だから、とにかく決められた時間仕事に就いていれば良い、というのは問題です。もらえる給料はどれだけやっても同じ、ならば楽に済ませたほうが良い。これでは仕事の質が低下し、その働いている会社や店舗の信頼低下にも繋がります。アワリーにも評価次第で報酬が上下した方がやる気を起こさせます。マクドナルドのアルバイトにはランク付けがあり、それは出来る作業によって上がると聞きます(但し時給には大きな差がつかないようですが)。スターバックスコヒーはアルバイトの人にもストックオプションが与えられるというシステムがあります。

仕事の良し悪しは時間だけで計ることは出来ません。大切なのは仕事の質だと思います。会社が各社員の仕事

に対しての評価を給料に反映し、また社員がそれに応えてくれるような好循環を生み出せていけたら良いですね。



社長 森 直樹

『拉致』

9月18日の朝刊を見て、言葉に詰まった。拉致されたご家族の心中は激しい怒りと、むなしさ、やるせなさでどうしようも無い気持ちでしょう。こんなむごい仕打ちを、なぜ・なぜ自分の子供が受けなければいけないのか？

北朝鮮首相・日本首相の両政治家に対し怒りをぶつけた。政治家の個人的野心・野望・職務怠慢・無責任の結果残忍な結論になってしまった。日本の政治家は志を無くし、サラリーマン的政治家が多くなり、身体を張って立ち向かう気構えを忘れてしまい、ただただ政治家個人の私利私欲のみで動く国会議員が多くなり、自分自身に利益があるかどうかで言動を決めている。彼等政治家の行動規範には、自己犠牲とか無償奉仕・正義・国民の代表という言葉は無いのである。



※拉は、拉面(ラーメン)の拉(ラ)、引つ張るの意味の漢字です。
森 信之

『釣りキチ』

9月16日、永年会恒例のハゼ釣りに参加した。場所は福井県敦賀港(河口)・参加者9名・天候曇り。名古屋AM6時出発で現地到着がAM8時30分。まずは仕掛けの準備から始まり、全員が一斉に投げはじめ。侃さん・呉亭も慣れない手つきで挑戦。釣れてきたハゼに呉亭大歓声！歓声！釣れ状況はまずまず退屈しない程度に釣れる。本日、メインは釣ったハゼをその場で刺身にして食べる。岩間調理氏の手捌きで、出来上った刺身をワサビ醤油で戴いた。ハゼの刺身は最高！全員感激！感激！又、大和田さんの手作りおにぎりも最高に美味しく、皆さん大満足。竿締めはAM12時。釣り成果・一人約15匹・サイズ15〜20cm。帰りは、魚広場ひかまぼこ工場ひ清洲城ひ最後に信長ラーメンで締めくくる。侃さん、呉亭、大変満足顔、お疲れ様。往復運転の光田さん・松井さんお疲れ様。一言



ハゼ科に属し、ハゼの仲間是非常に多く、日本全国で数百種もいる。その中で中心的な存在なのがマハゼで、一般にハゼで通用する。夏になると内湾や河川の河口付近に集まり、川にのぼる。秋の彼岸過ぎるまでは岸に近い浅場にいるが、水温の低下とともに深場へと落ちていく。2年以上生きるものもいるが基本的に1年魚(釣り入門誌より)。
へ味覚



天ぶらは特に風味があり、魚の天ぶらの中でナンパーワンと言う人も多い。塩焼きでレモン汁をかけて食べるのもよし、から揚げにしても美味しい。
大変釣りやすい魚で、ファミリィフィッシングに人気です。次回には皆さんも挑戦してみてください。
横山 敏秋 (ユニティ)

『変化』

先日の夏休みにも久しぶりにジョギングをし約1時間くらいかけて走りました。最初からイメージと程遠く走るといふより歩いている感じでした。「昔はこんなことはなかったのに」という実感。1年くらい前に野球の試合でピッチャーをした時に1球目を投げた時から肩に痛みを感じました。痛みが引かないので医者に行って診て頂くと、「昔、強くやっていた人か、急激にやめた結果、筋肉が落ち、肩の骨に負担がかかりすぎていから痛みが出るのです。」と説明されてやっぱり運動をしないことになったの」という実感。これは、やっぱり運動をしなくなった結果と自分の体を維持できていないのかな。10年くらい前の体重と今の体重は約10kgプラス。そんなことも影響しているのでしょうか。

体だけではなく、頭もそうです。携帯電話で留守番電話が3件くらい入っていて聞き終わった後に考えると1件目の留守番電話は誰やったかな？と考えてしまいます。下手したら2件目の人のことも忘れてしまうことがあります(退化しすぎかな)。数字を覚えるのが好きで昔から記憶力には自信がありました。これも「昔はこんなことなかったのに」という実感。

商売も10年くらい前は、目標があり、こう動いたら1年後には結果が出て3年後くらいにはかなりの成果が出ていると計算できたと思います。今は3年後、いえ1年後下手したら3ヶ月後の自分の姿と商売の結果を自信を持って語れなくなってきたりもかもしれません。「本当に昔はこんなことはなかったのに」という感じです。自分の退化は、気持ちと心がけでなんとかするものだと思いますので頭は柔軟に体も柔らかくしてフットワークが軽くなるように心がけ日々努力し、いつまでも高い目標を持たないかと本当にこの世の中にはくらいについていけないと最近思っています。



先日モーリン会のゴルフコンペがありました。10年くらい前はトップ争いをしていました(ちよっと大げさかな)私が入りです。ドヘタ賞というものを頂き、とどめを刺されました。「昔はこんなことなかったのに」時代の変化ですね。
黒松 康郎(プロジェクト)

読後感

「トヨタウェイ」

著者：梶原 一明

「経常利益一兆円」という恐るべき数字を聞いても「車を安くしろ。」と誰も言わなくなったのは、それだけトヨタが日本を代表するエクセレントカンパニーとして完全に認められたからでしょう。今まで財界活動に積極的には参加してなかったトヨタも他の企業が不況でガタガタになり、日本人の心がすぼんでいる中で奥田会長が日本経団連の会長になり彼の言動がすきんだ日本人の気持ちに勇気と希望を与えているのも事実でしょう。

「トヨタウェイ2001」は世界に広がるグローバルなトヨタグループの多様な価値観を持つ、多人数の社員たちの為に「経営上の信念・価値観」を誰の目にも見え、理解できるように整理・集約し、張社長が中心となってまとめ上げた、森松で言えば「モーリン語録」と同じものです。こういう時代であるからこそ「価値観の統一」「意思疎通」が特別に重要であると思いますし、トヨタのような世界的企業となれば「欧米風合理主義と日本風人間尊重主義との融合」による独自の経営思想を全社員にオープンにすることで欧米の自動車企業との競争に勝っていかなければいけないのですから、必要不可欠なのでしょう。そして実際の仕事の中で常に社員全員がどのように「トヨタウェイ」を落とし込んでいくかを考え、将来はどうあるべきかを考えることで、「トヨタ」も「トヨタウェイ」も進化・発展し続けていくと、張社長も言っております。

「モーリン語録」も仕事の中での実践から、さらなる進化・発展を皆で考えていくことが会社の進化・発展になるのであることを確信しました。

牧野 光昌 (プロジェクトA)



「ライオンは眠れない」

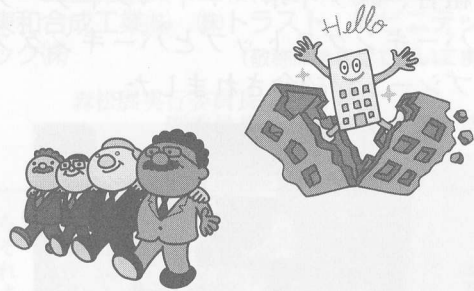
著者：サミュエル・ライダー

いろんな動物たちが出てきて、人間と同じような悲喜劇を演じる。普通に読むと少しも要領を得ないが、よく読んでみると現実の出来事をなぞった本である。

「一寸先は闇」人生の前途には何が待っているかわからないという日本の諺だが、今、世界はまさに「一寸先は闇」状態である。この国を立てなおすために、この国を壊します。「大改革」・「破壊」についても、それを深く認識できたら、生きて行くうえでどれだけ役立つか。マイナスをプラスに転じる強力な武器にもなる。会社が倒産し、また、商売で失敗し、すってんてんになっても、もしかするとこれは大きなチャンスかもしれない、生まれ変わるチャンス、生き方を変えるチャンス、新しい人生に踏み出す絶好の機会とすることが出来る。

「破壊は痛みをとともうが、その向こうに必ず再生がある」という言い方も、けっして大袈裟でなく「破壊」を恐れずむしろ二度とないチャンスと私は思う。

大橋 康成 (ユニティー)



『交通安全マナー』

近頃信号無視をする人たちを見ます。自転車に乗った若者や大人たち、時々歩行者も見ます。私も6、7年前になりますが、自転車に乗っていて、赤信号から青信号に変わらないうちに渡り始めたところ、直進してきた自動車と接触しまして、自転車の前が壊れただけですみましたが、その時から青信号になってから渡るようにしてまゝ。もし赤信号で渡った人のあとを、老人や子供達が信号を見ずに渡ろうとして、自動車に気づかずひかれてしまったらと思うとゾッとします。

子供の時から親や先生達から交通安全について教わってきた



と思いますが、子供達は信号を守っているのに、その横を信号を無視をして渡っていく人を見てどのように思っているのでしょうか？私達が交通ルールを守り、お手本になるように心がけなければと思いました。

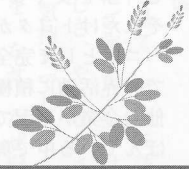
坪井 芳治

(レインボー)



2002年

10月の予定



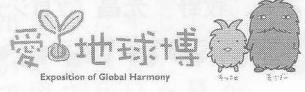
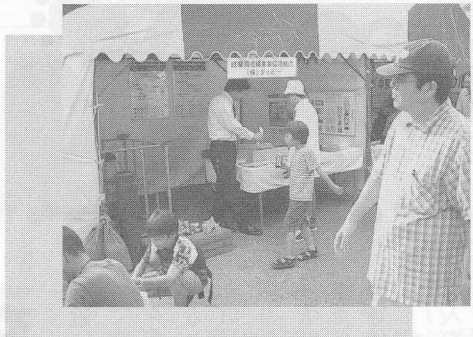
1日(火)	三協化成産業会議	17時00分〜20時00分
5日(土)	第一土曜休み	
6日(日)	生地卸連合総会	
7日(月)	誕生会	
12日(土)	第二土曜休み	
16日(水)	産学協同展示会・吹上	
18日(金)	経営会議	7時30分〜
23日(水)	営業会議	15時10分〜
24日(木)	竹内さん誕生日	
26日(土)	森松展	
24日(木)	加藤さん誕生日	
28日(月)	編集会議	17時30分〜
	生産会議	18時00分〜

環境デーなごや2002 / パーキングストップ出品

環境問題をテーマとした市民イベント『環境デーなごや2002』（主催：名古屋市）が平成14年9月8日(日)久屋大通公園にて開催され、約10万人の市民が参加。ごみ問題とリサイクル会場エリアの「地球にやさしい企業と技術の広場」岐阜県清掃協同組合、(株)タイポー：イベントブースで、パーキングストップとパーキングストップシートが紹介されました。



分別されたその他のプラスチックゴミが商品としてリサイクルされる実例に、会場の多くの参加者より注目と質問を受けました。

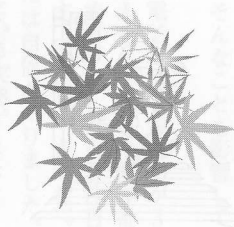


森松株式会社は愛知万博を応援します



梅田 文康 (ユニティール)

ライブです。学生の頃は、近場では香嵐溪、赤目、また、信州などにも足を運びましたが、赤く染まる山を横に走るドライブは最高です。とはいっても、ここ二年ほどは遠ざかっているのですが、今年は、どこかいい場所を探して、久しぶりに行ってみようと思っています。



残暑厳しい日々も、ようやくおさまり、過ごしやすい季節になってきました。秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、いろいろ言われますが、私の一番の楽しみは、紅葉ド

編集後記